

季刊通信

Mi No Ru



帝京平成大学

附属日本語学校

東京都豊島区東池袋 4-26-10

TEL: 03-5843-4840

E-mail: jpschool@thu.ac.jp

URL: <https://www.thu-jpschool.com/>

2024年4月26日発行(第5号)

ねんどしゅうりょうしき
2023年度修了式

3月22日(金)、温かい春の日差しを感じる中、帝京平成大学池袋キャンパス7階716教室にて2023年度帝京平成大学附属日本語学校修了式が行われました。当日はオンラインにて母国の父母等の参加もありました。思い出の動画上映では懐かしむ声や笑い声が上がりました。修了生の皆様、ご修了おめでとうございます。



かがいかつどう とうきょう
課外活動：東京ディズニーシー

待ちに待った東京ディズニーシー遠足では、クラスごとに行動しました。絶叫アトラクションに駆け込むクラス、買い物をするクラス、ゆっくりと昼食を取るクラスなど、みんなディズニーシーを満喫していました。一日、笑顔の絶えない、良い思い出の日となりました。



じゅぎょう やっきょく か もの
授業：薬局で買い物

初級クラスの授業で「薬局で買い物」をテーマに会話発表を行いました。学生たちは、勉強したばかりの文法や言葉で一生懸命会話の原稿を作成し、何度も発表練習をしていました。学生たちの生活でも活用できる実践的な授業となりました。





しゅうりょうしゃ

修了者インタビュー



○カ シビ さん (国籍：台湾)

進学先：明治大学 経営学部 経営学科

Q：なぜ明治大学の経営学科を選びましたか。

A：親が会社を営んでいて、自分もその影響を受け、経営者になりたいと思ったため、経営学のある大学を探しました。

明治大学経営学部では、実践的な授業が多いことや、挑戦できる活動もあることを知り、受験することにしました。



Q：受験対策はどのようにしましたか。

A：試験は2回あり、1回目は書類審査で、2回目は面接試験でした。日本語学校の先生に志望理由書を直してもらい、塾の先生にも見てもらいました。文法や語彙の使い方はやはり母語話者の指導が必要だと思いました。面接対策では、先生と対策を行い、想定質問を準備し、自分が面接官ならどのような質問をするか考えました。何回かこういう準備をした後は、たとえ準備したことがない質問が聞かれたとしてもあまり緊張しなくなりました。

Q：受験で一番つらい時期はいつでしたか。どうやって乗り越えましたか。

A：不合格の通知を受けた時です。なるべく外と触れる時間を作りました。たとえば、家族や友人と雑談したり、散歩したりしました。また、京都に受験で訪れた際に行きたかったお店や神社を散策し、気分転換をしました。

Q：日本語学校に在る間、忘れられない思い出はありましたか。

A：遠足で高尾山へ行き、紅葉を見たことです。ずっと紅葉を見たかったのですが、受験の準備で見に行くことができませんでした。学校の遠足で日本の紅葉を見る機会があり、とても嬉しかったです。

Q：後輩たちへ何か伝えたいメッセージはありますか。

A：試験や大学受験で不合格でも、落ち込むことはありません。次の試験、次の学校の入試までに頑張ればいいのです。思い悩んだりして、時間を無駄にしないでください。不安なことがあれば日本語学校の先生に相談してみてください。皆さんが希望の大学に合格できることを祈っています。

昔は4月の入学式前後が桜の見ごろでしたが、最近卒業式シーズンに咲いてしまうかのような勢いです。これも温暖化の影響でしょうか。当校も桜の便りが聞こえ始めた3月22日に修了式を迎えました。修了する皆さんはこれからが本当の日本社会へのデビューです。今までの学習成果を思う存分発揮して、将来の自分のために研鑽を積んでください。

季刊通信「Mi No Ru」編集部